

電 報 欄

イタリイ獨乙の協商條約に關し
下院議員ヒルフエルデン氏言明
して曰く「余輩は各國民の自由権
を壓迫するに努め居るが如き主腦
種々怠りなく爲しつゝあり、而し
て反対せざるを得ぬ、而して
吾人は「イタリイ國民」と協約をな
すものにして決してムツソリニ氏
となすに非ざるなり」と

更に彼は民主黨の立場として獨伊
の親交はムツソリニがイタリイの
中心勢力を有する間不可能なりと
附言せり



の半面(四)

溫度表	
日本編輯室の度	最高度最底度
二二	二六、五
二三	二七
二四	二八
二五	二九
二六	三〇
二七	二一
二八	二四
二九	二三
三〇	二二

度

● デ・ビネードへ
賞與金

東京ローマ大飛行終へしデ・ビ
ネード氏に對し二十万磅を送り機
關士カンバニリには五万磅を與へ
ることに決したと

(廿日ローマ電)

● 睡眠病退治

英國政府は世界に於ける、國際聯
盟特別委員に依り起されたる睡眠
病撲滅團に對し三千五百磅を寄附
したと

(廿日ジエネーバ)

● 英國の濃霧

昨日マーセイ河口に濃霧深くたれ
こめ多數の水上チン事を惹起せり
六人の死者と多數の負傷者を出せ
りと

(廿一日ロンドン)

● 支那

支那關稅特別會議に於ては一九二
九年一月一日より支那關稅自主權
の實施を承認する様に取決めた其
他の細目事項は近々解決せらる可
しと

(廿日ペキン)

● 北京を

中立地帶に

最後報に由れば張鴻兩將軍の間に
北京を絕對中立地帶となす旨の協
約成りたりと、而して各自軍隊を
撤退させつゝありと

(廿日ニューヨーク)

● 中国の皇太后

病重し

「セントラル、ニュース」の報ず
る所に由れば露國の皇太后マリア
フエドロウナは本日薨去せる妹ア
レシャンドラ女王の訃を聞きて病
氣となりコベンハーゲンの近郊に
あり療養中なるが中々の重態なり
と

(廿日ロンドン)

● 独乙の民主黨
ファシスタを攻撃

コンスタンチノープルの「モルニ
△外國貿易 引續キ順調

● トルコ

英國に攻とするか

本邦經濟界近況

● トロ

英國に攻とするか

フアン・ペニーリーの報ず

● 病重し

「セントラル、ニュース」の報ず
る所に由れば露國の皇太后マリア
フエドロウナは本日薨去せる妹ア
レシャンドラ女王の訃を聞きて病
氣となりコベンハーゲンの近郊に
あり療養中なるが中々の重態なり
と

(廿四日ゼネララ)

● トロ

英國に攻とするか

コンスタンチノープルの「モルニ
△外國貿易 引續キ順調

● 独乙の民主黨
ファシスタを攻撃

コンスタンチノープルの「モルニ
△外國貿易 引續キ順調

● 独乙の民主黨
ファシスタを攻撃

コンスタンチノープルの「モルニ
△外國貿易 引續キ順調

南米主要諸國向
郵便物遞送改善

本邦ヨリ南米諸國向通常郵便物ハ
從來紐育郵便局宛行囊中ニ納入シ
紐育郵便局ヲシテ適宣仕譯シメ

タルヲ以テ「バンクーバー、シャ
トル、タコマ、桑港」等ニ揚陸セ
ラレタル郵便行囊ガ鐵路紐育ニ到

着タル後兩三日ニシテ紐育ヨリ
南米向メール船出帆スル場合ニハ
キ場合アリトスレバにゆうよろしく

前夜若クハ今朝紐育ニ到着シ本日
午後南米向メール船出帆スルガ如
キ

素ヨリ何等ノ不便不利ナシト雖モ
ル爲メムザヽ次便ヲ待テ十日前

千俵相場二百六圓十錢

綿糸布輸出増進綿糸出來高
圓九十錢

△商品市場
生糸輸出手堅ク輸出四万四
千俵相場二百六圓十錢

綿糸布輸出八千三百萬碼

羽二重十七圓六十五錢

綿布輸出三万二千七百
圓三十萬千百圓

羽二重十七圓六十四圓九十錢

米三十八圓六十五錢

△一般市況
物價指數二六五・一

羽二重十七圓六十五錢

明穂の梅さんが聖市で外人帽子
屋の「カマラーダ」をやつてゐる頃
日本人がある。

六尺箱店かついて奢哉屋をやつた
市の中央街しかも市議事堂の前で

日本人がある。

ヨンで麥の粉團子、太白の砂糖入
りだが、三腕と賣れぬ間に「カツ
チング、デ、フェイジョン」と正体
露見に及び二日目はオジヤンの商



植民地
より

君のソロバンは

どう乎

一棉作者

僕のソロバンは斯うなるだ
花瓦落して地廻り相場現住アロバ
七ミルしか拂ひやがらんからナ
來年の早物は貯金目に見て十ミル
とまりだらうよ。

「情ないナ」

物事はなるやう
て十ミルの外、多少出るかもし
らんが、その算用で今から算用に
入れてかゝると馬鹿を見るぞ、だ
からアロバ十ミルとしてソロバン
立て給ひ。大した間違ひはないよ
ト蟲のぬき話だが假りにアルケ
ル五十アロバとれるとする
か、そうすると一コント五百ミル
の收入になるね……

内左記の生産費を天引きして見給
ひ、一アルケールの小作料二五〇
ミル

二、二アロバの種子約四〇ミル
三、アロバ二ミル五百のつみ貰百
五十アロバ代三七五ミル

四、アロバ五百レース驛までの運
賃七五ミル

合計七百四十ミル也

いい、か君！ これだけは君がいく
らチタバ騒いでも、否應なし天
引出になるんだ。

「でもまだ残額七百六十ミルあ
ると云ふのか……

「オイ早合點ちやいかネイ
この七百六十ミルで、君は一城
(一アルケール、以下倣之)に對す
る

イ、一回カルビン
ハ、ブランタ
二回カルビン
カルビン

ロ、寄せ焼
ニ、蟻殺機播
ト、間引真み
ト、驅除
ス、樊器や
としてもベ
ルデバ
リスやアルセニ

君のソロバンは斯うなるだ
花瓦落して地廻り相場現住アロバ
七ミルしか拂ひやがらんからナ
來年の早物は貯金目に見て十ミル
とまりだらうよ。

「情ないナ」

物事はなるやう
て十ミルの外、多少出るかもし
らんが、その算用で今から算用に
入れてかゝると馬鹿を見るぞ、だ
からアロバ十ミルとしてソロバン
立て給ひ。大した間違ひはないよ
ト蟲のぬき話だが假りにアルケ
ル五十アロバとれるとする
か、そうすると一コント五百ミル
の收入になるね……

内左記の生産費を天引きして見給
ひ、一アルケールの小作料二五〇
ミル

二、二アロバの種子約四〇ミル
三、アロバ二ミル五百のつみ貰百
五十アロバ代三七五ミル

四、アロバ五百レース驛までの運
賃七五ミル

合計七百四十ミル也

いい、か君！ これだけは君がいく
らチタバ騒いでも、否應なし天
引出になるんだ。

「でもまだ残額七百六十ミルあ
ると云ふのか……

「オイ早合點ちやいかネイ
この七百六十ミルで、君は一城
(一アルケール、以下倣之)に對す
る

イ、一回カルビン
ハ、ブランタ
二回カルビン
カルビン

ロ、寄せ焼
ニ、蟻殺機播
ト、間引真み
ト、驅除
ス、樊器や
としてもベ
ルデバ
リスやアルセニ

君のソロバンは斯うなるだ
花瓦落して地廻り相場現住アロバ
七ミルしか拂ひやがらんからナ
來年の早物は貯金目に見て十ミル
とまりだらうよ。

「情ないナ」

物事はなるやう
て十ミルの外、多少出るかもし
らんが、その算用で今から算用に
入れてかゝると馬鹿を見るぞ、だ
からアロバ十ミルとしてソロバン
立て給ひ。大した間違ひはないよ
ト蟲のぬき話だが假りにアルケ
ル五十アロバとれるとする
か、そうすると一コント五百ミル
の收入になるね……

内左記の生産費を天引きして見給
ひ、一アルケールの小作料二五〇
ミル

二、二アロバの種子約四〇ミル
三、アロバ二ミル五百のつみ貰百
五十アロバ代三七五ミル

四、アロバ五百レース驛までの運
賃七五ミル

合計七百四十ミル也

いい、か君！ これだけは君がいく
らチタバ騒いでも、否應なし天
引出になるんだ。

「でもまだ残額七百六十ミルあ
ると云ふのか……

「オイ早合點ちやいかネイ
この七百六十ミルで、君は一城
(一アルケール、以下倣之)に對す
る

感(下)

雜

高橋圖南

▲日本人の開拓事業と
北海道の熊

日本人的向ふ所、山もなければ

かることその一

記事編

雨留

肥料

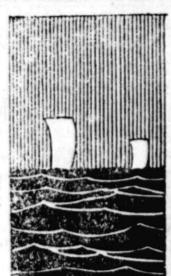
土木

工程

機械

</div

Semanario de S. Paulo



祖國便り

●騎馬を廢して

長らく懸案になつてゐた騎馬御警衛のロ繩は愈よ廢され、これに代つてサイドカーが御警衛申上げる。となり、宮城に於て大掛りな新ロ繩の演習を行つた結果は非常に好成績なので引き続き演習し出来得る限り月中旬東宮殿下東北行啓から實施するといふ、因に公式ロ繩は威容を主とする爲め騎馬が使用されることは從來の通りである。

●某地に會合して

恐るべき大陰謀

(蓄電池)を廢止し真空球の代りに鐵石機を用ひ、直接高聲機を働かせ二度擴大とするもので世界的の發明であると

樞密院正副議長親仕式は一日に行はれ攝政殿下には加藤首相侍立の上、穂積、岡野兩氏に對し左の如く官記を御親授遊ばされた

樞密院副議長
勤一等 勤一等男爵 穂積陳重
正三位 岡野敬次郎

樞密院正副議長親仕式は一日に行はれ攝政殿下には加藤首相侍立の上、穂積、岡野兩氏に對し左の如く官記を御親授遊ばされた

樞密院副議長勤一等 勤一等男爵 穂積陳重
正三位 岡野敬次郎

樞密院正副議長親仕式は一日に行はれ攝政殿下には加藤首相侍立の上、穂積、岡野兩氏に對し左の如く官記を御親授遊ばされた

樞密院正副議長勤一等 勤一等男爵 穂積陳重
正三位 岡野敬次郎

にやまねずハワイにむけ出發することになつた、先發としては既に

釜山の朝鮮水產試驗場長脇谷次郎博士がハワイに直行したが右は

専ら太平洋岸に於ける魚族の繁殖

状態や、減少してゆく種類の防止

その他各項に亘つて各國の水產界の泰斗が集合してやる魚族研究會議で石川博士は非公式にこの場所に顔を出すことになつたのである

この席には北米、濠州、ロシア、支那、シヤム、メキシコが參加し

太平洋沿岸の水產事業の促進、並

に魚族研究に智恵をしほつてゐる

博士は日本獨特の鮎を移植す

るため私費を以て鮎が一万から

卵を産みつけた尺四方のワク四十

枚を持參し、太平洋沿岸各國に

試験するといふ

太平洋沿岸の水產事業の促進、並

に魚族研究に智恵をしほつてゐる

博士は日本獨特の鮎を移植す

Semanario de S. Paulo

5

▲夫婦殺の有力な 嫌疑者捕はる

セルケイラ驛の

先月上旬ソロカバナ線セ、セーザ驛奥アグア、ピラード棉作者岐阜縣人坂田夫妻慘殺、強盜犯人はアピアノの弟が有力な嫌疑者として其筋に拘引された由、或筋からも十九分通り眞の犯人だらうともらしてると、共謀者ある見込み

▲トラホトム治療の 相談會

北西線リス市に於て
來月十三日開催

邦人のトラホーム療癒相談會が

来月十三日、日曜日午後一時より
ノロエステ線リス驛柴山旅館内

を會場として催ほさるゝ由

會の發起者は上塚周平、松谷正治、山地良藝、鈴木季造の四氏である、既に會狀をノロエステ線各驛總代株の人々、小學教師諸氏に

裏に伊藤八十二牧師がトラホーム患者がビッグキ植民地邦人に夥しきを憂ひ、當州衛生局長に面談發送したと。

同病の治療手當を懇請せし處、局長はボツカウの管轄衛生局醫に命じ該植民地邦人を検査せし處、意外にも邦人の九十四ボルセント

も居され居るを發見、それから俄に全植民者が不安を抱き、先來又同仁會の高岡ドットルが聖市よりノロエステ方面へ來診の際、トランム患者が事實甚だしきを見る

斯くてノロエステ邦人先覺者の發起となり、來月十三日有志と會し該病治療の前後策を講ずる由、憂慮の士は出席し良策を皆でひねり出すことだ。

▲あやまちで
ズドーン

去る廿四日夜半バウル市バチスタ街薬種屋セントラル藥劑生ジヨゼロデエロ(二三)は主人の留守中机のガベッタにあつた短銃シミツを引出し表に出て、イヌに腰かけ新聞を讀んでゐた同僚の傍に至り短なかつた由、誰だらうか

同僚を殺す

去る廿四日夜半バウル市バチスタ街薬種屋セントラル藥劑生ジヨゼロデエロ(二三)は主人の留守中机のガベッタにあつた短銃シミツを引出し表に出て、イヌに腰かけ新聞を讀んでゐた同僚の傍に至り短なかつた由、誰だらうか

銃を弄つてゐたが、そのはずみにズドーンと發射し、同僚ジヨゼベント、デ、カンボスの前額を打貫ぬいた、負傷者はサンタカザに送られが廿五日遂に死亡した、加害者は警察に拘留取調中、飛道具は危ない

ザ驛奥アグア、ピラード棉作者岐阜縣人坂田夫妻慘殺、強盜犯人はアピアノの弟が有力な嫌疑者として其筋に拘引された由、或筋からも十九分通り眞の犯人だらうともらしてると、共謀者ある見込み

▲開店

店

廣島縣人西本澤太郎氏は今回ビ

リギキ殖民地内アグアリンバ上區

いた、負傷者はサンタカザに送られが廿五日遂に死亡した、加害者は警察に拘留取調中、飛道具は危ない

▲九州旅館賣る

バウル市邦人經營三宿屋の一九

州旅館主加來普一氏は同旅館内容

造作及營業權利を此度沖繩縣人實

龟助氏に譲つた由、賣却值はチビ

リサ驛奥の土地廿アルケーレス、植付珈琲三年樹一万餘株との交換

宣をはかるをモットとする旨、去る日曜廿二日に盛大な開店祝を挙げたよし

▲アルベス地方は

自治郡になるか

現今はピラジユイ郡に屬して居るノロエステのブ、アルベス町は近く自治獨立の郡制を敷かんと該方面政治家は奔走中である

▲邦人經營の

ノロエステ線中唯一の邦人經營

製材板所プロミニン驛の尾形宮本

近く自治獨立の郡制を敷かんと該方面政治家は奔走中である

ノロエステ線中唯一の邦人經營

分のマーラだ、自分のものを自分で處理するに何の不都合があらうか位の考へて無理に持ち去らんと

か位の考へて無理に持ち去らんと

た、するといキナリ毛唐は腰なるガルシャ取るより早く渡邊めがけに氣を焦立ち今度はフアコンを引金を引いた、だが幸ひにして

拔放ち渡邊の頭上目がけて束も通れと切付けた、フアコンは前額部をかすつて後に……此時遅し彼時早く渡邊はこは敵はじとばかりこれも腰にさしたるビストルを以て應戦三發を放つた、中二發の中一發は左腹部に他の一發は胸部に……それにもひるまず毛唐は頑強に抵抗しつゝも半時間の後、身心の疲勞と苦痛の爲め其場にバッタリ倒れた

一發は左腹部に他の一發は胸部に……それにもひるまず毛唐は頑強に抵抗しつゝも半時間の後、身心の疲勞と苦痛の爲め其場にバッタリ倒れた

▲開店

店

ノロエステ線リス町

寺院アラサナ前

北米最新式

ノロエステ線リス町

寺院アラサナ前

一

町営深切を旨とし 凡て御客様本位に大勉強仕ります

アラサナ前

四五五九

旅館末廣

聖市、コンヂ、デサルゼダス街、五〇

館主

中 山 忠 太 郎

旅館主松山三太郎

聖市、カントタレイラ街九〇番

電話シダーデ七一三六

郵函

四一〇一

宿川小

ロイエリセンコ市聖

番六拾街ドタルフ

六七四四</p



女忠臣藏

(+)

碧
る
瑠
璃
園

十八の春を過させ給ふばかりの身が、綠の黒髪切放つて、内匠頭方の奥殿に籠せたまふ、内匠頭様は御切腹遊ばしても、壽昌院様は御存命、殿方は内匠頭様につかせられる、も、女は女同志、よそながら壽昌院御先途を見届けよとの思召しか、ね實家方は歴として居らせられる、た付きの上うら年寄衆もれ供して參られた、ご不自由はあるまじけれど、ね心の淋しさは御推量申し上ぐるに余りがある、去年の牡丹は鉄砲州の内上屋敷で、内匠頭様もろともご賞讃あらせられたのが、今年はれ里の奥御殿で、只獨りご覧ぜられる、去年の若葉は雨に清く、今年の若葉は涙に洗はれる、過ぎこし方を思はせられては、た小袖の先乾く時あるまじく、存りし昨日を思召し出されて、今も尚呼吸あるかを疑はせたまふ事もあるらう、良人の深き心附け、ご家中のね覺悟何れとも定まらせ給ふ上、壽昌院様御身の上思ふ者、打ちつれて江戸へ出で、真心を運び奉れと宣はするのであらうか、何事も打ちあけて仰せないご氣質、此方で推量申し上げて、覺悟の臍を堅めねばならぬ、あはれ、壽昌院様、深きご恩に浴しながら、江戸とて國と隔たれば、まだ一度もれ目にかゝつたことない、此の頭に御名を戴き日ごと夜ごとご開運を祈り參せた大石内藏之助妻ろくの名は御方も聞かせられてあらう、たとへた目に掛らずとも真心は通じるであらう良人の語り給はぬこと、松之丞の打ちあける筈がない、それを知つて迫り問ふは母の慈悲とも云へぬ、松之丞には松之丞の苦しみあらう、良人には良人のご思案あらう、明日にもご切腹とと定まらば後に残つた胸一つに内外の大事を連の的になつてゐる奥方は、本名にしてはならぬ、再び松之丞をしては、ならぬ、獨り立ちて事を悟一二してはならぬ、再び良人に賴つてはならぬ、枯木に花の十八の春を過させ給ふばかりの身が、綠の黒髪切放つて、内匠頭様にしては、ならぬ、天のれ助け必ず来る、殿方が内匠頭様に奉ずると、私達がが壽昌院につくとは、その意味が同じである、その心が同じである、た陸はこう思ひなれして、松之丞の居間を出た、奥の座敷では酒が盛る、客も主人も前に一大事が差迫つて居るに似ず、面白さうに高笑ひする、その中に松之丞も交つてゐた、父や十内やと同じ様に、頬れそな笑ひ聲を出してゐる。

た陸は良人の心が解らなかつた松之丞の胸の底が不審であつた今朝永別の盃を酌み交した身が、その酒の香のまだ失せぬ唇を一文字に結んで、ねめ／＼と歸つたさへあるに、面白さうに酒宴して父へ打交り笑ひ興する、格別大恩を受けながら、ね家の悲しみを忘れかまふたか、江戸櫻田の式部少輔様奥御殿に憂き月日を送らせられる壽昌院様の御身上を思召さぬか木挽町の内屋敷にご閉門あらせられ、大學様御苦勞をご推察なされぬか、と口惜しくもあり、疑はしくもありて、徒に胸のみ騒いだ。されど良人の所爲に點を打つ資格は持たぬ、良人の心をうけてゐる松之丞の口をむしることは出来ぬ、た陸は奥座敷の笑ひ聲を夢の吉千代が小姓を相手に昔話しなぞ聞いてゐる、千五百石の家庭は浪人をして、大名生活であつた。

赤穂に残つた忠義真心ある女中

内匠頭に縁づいて、足かけ九年の春秋を樂しい夫婦で暮された、年の數からいふと九年である、九年戸に勤めると一年は國へ歸つて暮す、大名と名のついたれし鳥は一年を別れ／＼に送つて次の一年を同じ波間につばさを交す、さらば九年でも伴れ添ふたはその半である、四年半の愛情は牡丹の色の如く濃かに又その香のやうに深い而かも不慮の災難はこのれし鳥を引き離した、並頭の蘭はねだは碎け一シ空しく悲風の中に残る、一時は同じ道にと泣き悲しんだが付き添ふ人々に引きとめられて世に亡き人の後々を弔ふ間もなく、忽ち屋敷を追ひ拂はれた、綠の黒髪を断ちきりて、千筋の思ひを内匠頭の棺にねさめ、わづかに唱へる唱名の聲も綠香の煙と絶ゆ／＼に忽ち氣絶もすべき身を、漸うに思ひ鎮めて、甲斐なき亡骸を廣島までねくり出し、此處に永き別れを告げる、後は只夢うつゝ、後は只歎きの海、無念の日、總てをあげて内匠頭に捧げた身が、見る／＼て鉄砲州の屋敷へ與入した時は貞姫様と花のよくな美しい名を呼ばげこんで、櫻田の式部少輔方へ引きとたは、三月十四日の夜であった。

九年前に芽出度櫻田の屋敷を出て鐵砲州の屋敷へ與入した時は貞姫様と花のよくな美しい名を呼ばれて、前途に清いかゞやきを持つてゐたが、今日切髪となつて里へ歸る時は壽昌院と呼びかへて柔らかい手に水晶の珠數をくる、百年の後までも夫婦睦ましく、頼みある和子生んで、一家繁昌の基を開かうと願つてゐた、その若草のふた葉よりも柔かい胸の底に、今はどんな物を收める、意恨、悲痛、良人のみはご切腹、そして相手方の吉良様はご存命、將軍家かられ樂湯までも下されぬ、それに對する無念、悪感、もし儘になるならこゝに潔く舌をかんで一念忽ち怨嘆となり、吉良殿咽喉元へ噛みつきたいとの心もあつた。

まことに當時の奥方はそれほど

△徵集延期に關する告示

好の城主(五万石)の妹で、當時の義理ある叔母に輪には男の子がなくしてゐる。院とは義理のある跡なくもなしは兄の長照も存命してゐたから良家を繼がせた、そりこぼつて、淋しありまするし慰めてつかわせ内に新しう居間をめぐらなく、不自由屋敷は浅野安藝守一屋敷の裏手にして本家分家と申した、士佐守はあるが、安藝守は高、一門縁者に公に有福の間ねも威勢を以てすれば、出來る、流石のは一目を置く場は家中を壓して仰せといふと大亡びても、昌後家になつては一家中を壓して仰せといふと大

第七、在留證明に關し當館に照する場合は、發信人の氏名、住所の外本籍地をも記す。第八、在留證明書を本人より直接本籍地へ送付の場合は必ず書類郵便を以てし其領取証保存し、第九、在留届又は轉居届未済の場合は在留證明願書と共に右届出べし。

在バウル一帝國領事館
Caixa Postal A Bauru